



## 水産情報速報版

H18.5.26 1193  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 平成17年静岡県の漁業・養殖業生産統計を公表 海面漁業の増加により9%増

関東農政局静岡統計・情報センターではこのほど、平成17年漁業・養殖業生産統計(概数)を公表しました。

それによると、県内漁業・養殖業の総生産量は234,437トンで、海面養殖業が前年に比べ137トン(前年比4%)、内水面漁業が前年に比べ21トン(同7%)、内水面養殖業が前年に比べ485トン(同11%)、それぞれ減少したものの、海面漁業が前年に比べ19,543トン(同9%)増加したことから、前年に比べ18,899トン(同9%)増加しました。

海面漁業の漁獲量は226,458トンで、このうち遠洋漁業の漁獲量は83,464トンで、前年に比べ9,568トン(13%)増加し、遠洋かつお・まぐろまき網でメバチ及びカツオが、遠洋まぐろ延縄でミナミマグロ及びキハダがそれぞれ増加しました。沖合漁業の漁獲量は113,576トンで前年に比べ2,848トン(3%)増加し、これは、大中型1そうまき網、敷網(あじ・さば棒受網)でサバ類が減少しましたが、近海かつお・まぐろ旋網でカツオが、中・小型1そうまき巾着網でカタクチイワシ及びサバ類が増加したためです。沿岸漁業の漁獲量は29,418トンで、前年に比べ7,127トン(32%)増加し、これは、船曳網でシラスが前年の過去最低から大幅に増加し、大型定置網でカタクチイワシ及びサバ類が増加したためです。

海面養殖業の収穫量は3,581トンで、魚類及び海藻類が増加したものの、貝類が減少したため、前年に比べ137トン(同4%)減少しました(マダイ = 1,147トン(前年より5トン増)、マアジ = 822トン(同240トン41%増)、ブリ類 = 219トン(同92トン72%増)、ノリ類 = 758トン(同164トン28%増))。

内水面養殖業では、マス類養殖の収穫量は2,123トンで、前年に比べ97トン(同4%)減少しました。また、ウナギ養殖の収穫量は1,633トンで、(同247トン13%)減少しました。

### 2. 平成18年度天草共販協議会を開催 第1回入札会を6月21日に決定

本会賀茂出張所において5月22日、平成18年度天草共販協議会を開催し、本年度の共販実施計画などについて協議しました。

また、県水試伊豆分場から、本年3月下旬から4月上旬にかけて伊豆半島沿岸9地区(21箇所)で、潜水調査を実施した生育状況調査(各漁場内のほぼ平均的と思われる所を1㎡の枠取りを行い、重量及び藻長を測定)の結果と本年度生産予測が報告されました。

それによると、海藻カジメの増加などでテングサが減少した漁場も一部確認しましたが、テングサの広がりが増えた漁場が多く着生状況も良好で、南伊豆地区は前年並み、西伊豆地区では前年より増産、土肥地区でも増産が予想され、県全体としては前年並みから増産が予測されます。なお、本会の平成18年度天草共販事業入札会は6月21日をおきりに11月29日まで合計7回を開催することとしています。

### 3. 海上安全指導員の活動状況等を発表 女性海上安全指導員が活躍

海上保安庁ではこのほど、平成17年における海上安全指導員の活動状況等について発

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

表しました。それによると海上安全指導員は、平成17年12月末現在で、1,758人(内女性9人)が全国各地で活躍し、安全パトロール艇を用いてプレジャーボート等への安全指導を行う安全パトロール活動や、マリーナ、ヨットハーバーにおいて安全指導を行う訪船指導のほか、海上安全講習会や水産救助訓練などを実施しました。

同庁では、小型船舶の海難防止とルールやマナーの向上を図るため、地域と密着した安全活動を行う民間団体である小型船安全協会の設立を推進し、昭和49年から、各管区海上保安本部長が協会の核となって活動する民間ボランティアの方を海上安全指導員として指定し、海上保安官等との連携による安全指導活動を積極的に展開しています。

### 4. 第41回水産加工技術セミナー開催のお知らせ

県水産試験場では、新技術の開発・導入による新製品の開発、消費者志向に基づく品質の高度化・安全性の確保あるいは廃棄物の有効利用などを推進するため、次のとおり第41回水産加工技術セミナー(参加費無料)を開催します。

開催日時:平成18年6月13日(火)13時 開催場所:県水産試験場 3F大会議室

講演1:『水産試験場研究員による研究報告』

「カツオの資源と生態を知る」= 利用普及部部長 安井 港氏

「カツオ生殖腺リン脂質がマウス脳内脂質成分に与える影響」= 利用普及部主任研究員 平塚聖一氏

講演2:『アジア向け水産物輸出の現状 ~ 中国市場における動向を中心に ~』

日本貿易振興機構東京本部産業技術・農水産部農水産調査課長 末田正幸氏

講演3:『消費技術センターにおける食品の判別分析技術とその実態』

(独)農林水産消費技術センター表示監視部技術研究課研究第1係長 高嶋康晴氏

申込方法:6月9日までにFAXまたは郵送で、県水産試験場加工水質研究室宛

〒425-0033 焼津市小川汐入3690 FAX:054-629-7350又は627-3084

### 5. 新刊図書紹介 「漁師直伝!魚のたべ方400種」 奥本光魚著

農山漁村文化協会はこのほど、「漁師直伝!魚のたべ方400種 -この魚にこの料理-」を刊行しました。

本書は、昭和52年に発売され、29,000部を売り上げた同名の本から装丁と写真を一新した改訂版です。著者の奥本氏(故人)は愛媛県南予の元漁師で、魚の選び方から食べ方に至るまでを、自分の経験に基づき分かりやすく解説しています。

このほか、魚の捌き方や目利きの基本、旬や鮮度に見合った魚のうまさを引き出す秘訣、皮や内臓などアラまで余さず楽しむレシピなど、素朴で豪快、そして健康的な漁師直伝の家庭料理を丸ごと紹介しています。

価格:1,600円(税込) A5版200頁 問合せ先:農山漁村文化協会 TEL:03-3585-1141

### 6. 会議・日程(5月30日(火)~6月12日(月))

- 既報分省略 -

6月 9日(火) 県漁船保険組合 = 通常総代会 (県水産会館)

〃 県漁業共済組合 = 通常総会 (〃)

〃 県ふぐ漁組合連合会 = 通常総会 (〃)

〃 県漁連 = 県トラフグ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会 (〃)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう